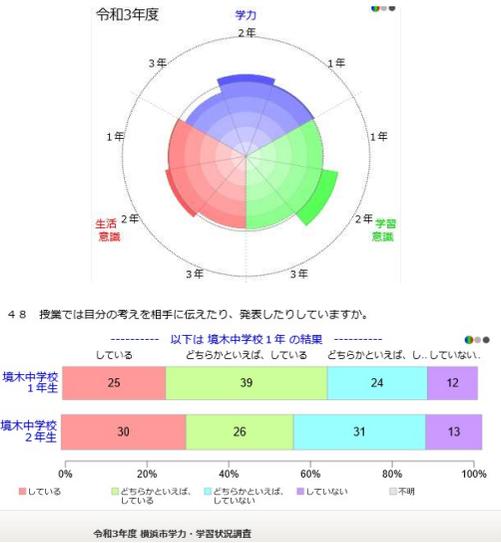


学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①各教科の授業において、学習目標やねらいを提示し、それらに対する振り返りを行うことで、見通しをもった学習態度や主体的に学びに向かう力を育成します。②ICT等も活用しながら、問題解決的な学習や協働学習を推進することで、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成します。
担当	教育戦略室

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる生徒の実態
 昨年度の横浜市学力・学習状況調査の結果を見ると、一日の学習時間が長い生徒や学習が好きだと答える生徒は多い一方で、学年が上がるにつれ、授業で自分の考えを伝えることに消極的になる傾向が見られる。



(2)これまでの学校の取組状況
 定期試験前に、生徒たちが各教科担当に対して質問や相談をする時間を設定し、学習に活用させていた。また、夏季休業中には学年ごとに学習会を設定し、個人で夏季休業中の課題に取り組むことが難しい生徒に対して補習を行い、基礎・基本の確実な習得を図った。

今年度の目標

ICTの活用も視野に入れながら、主体的・協働的な学習を推進し、自らの考えや意見を仲間に対して表現できるようにすることによって学びを深める。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でのグループ活動の中で対話的な活動を行い、仲間に対して自分の考えや意見を表現することへの心理的ハードルを低くする。 ・各教科で、主体的・協働的な学習を推進するためにはどのような授業を行う必要があるか等について意見交換を行い、実施に努める。 ・ICTを活用するためには何が必要なかを整理したり、ICTを活用した授業の展開にはどのようなものがあるのかについて見識を深めたりする。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見を表現する規模を、少人数からクラス全体へというように少しずつ大きくしていく。 ・個人内でPDCAサイクルを回した結果を教科内で共有し、より効果的な授業実践ができるようにする。 ・ICTの活用の実現に向けて研修を行ったり、行内組織を整備したりする。